

早稲田大学教育・総合科学学術院主催 国際部共催
招聘講演会(ロンドン大学)

グローバルイゼーションと 英語教育に関する一考

A reflection on globalization and English language teaching

日 時：2009年10月9日(金)
16:30~18:00 入場無料

会 場：早稲田大学早稲田キャンパス
国際会議場 18号館301会議室

講演者：デイビッド・ブロック教授
(ロンドン大学教育研究所)



講演概要

この講演では言語教育の中でグローバルなアプローチとされているコミュニカティブな英語教育(Communicative Language Teaching CLT)、特に、国際語としての英語の教育(Teaching of English as an international language TEIL)に関しての一考をする。講演ではまず、CLTの台頭と、近年、これが発展したとされるアプローチ、即ち、タスクに基づいた言語教育(Task based language teaching TBLT)を、双方ともグローバルな教授法と捉え検証する。次に、英語教育において、このグローバルとローカルとの調和を取ろうとして続けられている取り組みについて簡単に論じた後、CLTを媒介する役割を果たしているTEIL(国際語としての英語の教育)の為のグローバルな教科書について考察する。特に、近年出版社が学習者をコスモポリタンな消費者として捉え、いかに彼らが求めるような種類のアイデンティティを作り上げているかに焦点をあて考察する。(本講演は英語でのスピーチになります。)

デイビッド・ブロック氏の紹介

デイビッド・ブロック氏はロンドン大学教育研究所の学習、カリキュラムとコミュニケーション学科の教授であり、著書には*The Social Turn in Second Language Acquisition* (Edinburgh University Press, 2003)、*Multilingual Identities in a Global City: London Stories* (Palgrave, 2006)、*Second Language Identities* (Continuum, 2007) があり、また、デボラ・カメロン(Deborah Cameron)との共編著に*Globalization and Language Teaching* (Routledge, 2002) がある。ブロック氏の主な研究分野はあらゆる種類の言語実践におけるグローバルイゼーションの影響、移住(マイグレーション)、アイデンティティと言語学習及び言語使用の関係であり、現在は応用言語学におけるグローバルイゼーションとアイデンティティに関する本を執筆中である(Routledge より出版予定)。

会場

早稲田大学早稲田キャンパス

国際会議場 3階

東京メトロ(地下鉄)東西線

「早稲田駅」徒歩8分

東京メトロ副都心線

「西早稲田駅」徒歩20分

JR山手線・西武新宿線

「高田馬場駅」徒歩20分

詳細は教育総合研究所HPにて
随時更新いたします。

問い合わせ先：早稲田大学教育総合研究所(16号館209室) TEL: 03-5286-3838

URL: <http://www.waseda.jp/kyoikusoken/index.html> E-Mail: IASE@list.waseda.jp